

有限会社 伊藤輪店 (イトウマリンサービス)

平成29年度
事業計画名

公園遊具等FRP製品製造に係る新設備導入による
生産性の向上

DATA	代表者名	代表取締役 伊藤 晃	資本金	300万円	従業員数	7名
	設立	1977年8月	事業内容	FRP製品(公園遊具、和船、漁業用タンクなど)の製造・販売、船舶関連製品の販売・修理、プロパンガス販売		
	実施場所	〒022-0211 岩手県大船渡市三陸町綾里字黒土田41-1 TEL 0192-42-2108 FAX 0192-42-3159 E-mail.rikiya_ito51@ybb.ne.jp	URL	http://www.itomarineservice.com		

製造設備の新設により、採算性の高いFRP製品製造環境を構築

メーカーとの直接取引により、採算性の高い大型公園遊具の製造を受注。継続的で安定的な受注を得るため、新設備の導入により生産性の向上と品質向上に取り組んだ。

公園遊具の大手メーカーとの直接取引が実現

有限会社伊藤輪店は昭和34年、自転車やオートバイの販売・修理店として創業し、その後、プロパンガスの販売や船舶関連の販売・修理、自社設計・製造によるFRP製和船の製造、その他漁業用タンクや公園遊具などのFRP製品の製造を行ってきた。特に東日本大震災後は、流失してしまった和船の製造に尽力。しかし震災後10年を迎え、和船の新規製造の需要が落ち着いたこと、また地域の人口減少などにより、当社の市場の規模は減少しつつある。こうした背景から当社では、限られた経営資源をどこに投入していくかが課題であった。

そんな折、当社の持つFRPの技術を生かせないかと関東に営業をかけたところ、遊具の大手工場メーカーと知り合い、復興支援の意味もあり、利益率の高い直接取引ができることとなった。

製造するのは、特殊な半透明のFRPを使った公園遊具だったが、試作を行ったところ、製造過程で出る粉



集塵・排気装置を備えたジャバラテント式塗装ブース。ここで型に特殊なゲルを吹き付ける。

塵や不安定な硬化環境により多くの不良品が発生してしまっ。そこで、今後安定的な需要が見込まれるこの公園遊具製造のため、これらの不備を解消するための新設備を導入することとした。

新設備の導入により、安定的で高品質な製品製造が可能に

今回の補助事業では、主に3つの新設備を導入した。塗装工程においては、局所排気装置を備えた「ジャバラテント式塗装ブース」を導入。強力な排気機能を持つブース内で型への吹き付けを行うことで、周囲への飛び散りがほとんどなくなり、近くで別の作業を同時に行うことができるようになった。また周囲のごみなども排気装置が吸引するため、製品への付着も防ぐことができる。

製品のバリを切り落とすトリミング工程においては、「ジャバラテント式集塵ブース」と「集塵機」を新設。粉塵の工場内への飛散が防げるほか、製品への粉塵付着も回避でき、不良品の発生を抑えることができた。



トリミング作業時に使用する集塵機。バリを切り落とす際に出る微細な粉塵を瞬時に吸い取っていく。

また、冬場の低温環境に対応するため、温度を一定に保つことのできる「硬化炉」も導入。硬化に適した温度管理ができるようになり、低温時の硬化時間の短縮を実現。年間を通して安定した品質の製品を製造することが可能となった。

新規雇用を実現し、職場環境の改善にも

これら新設備の導入により、現在受注している公園遊具の製造が安定的に行えるようになった。不良品の発生が減少したことで、生産効率は1～2割向上。当初立てていた各種の目標値もクリアしている。今後の継続的な生産が見通せたことから、1名の新規雇用も実現している。

作業に必要なときのみ広げて設置できるジャバラテント式のブースを採用したことで、既存の作業場の有効利用にもつながっている。粉塵などの影響で、これまでは塗装やトリミングの際、近くでほかの作業をすることが難しかったが、ブースに排気装置を組み込む



冬季でも温度を一定に保つことのできる硬化炉。年間を通して安定して硬化させることができるようになった。

ことで同時に別の作業を行うことができるようになり、工場全体の作業効率の向上にもつながっている。また粉塵や匂いなどの軽減は、社員の健康や職場環境の改善にも寄与している。

さまざまな要望に応えられる技術力の向上をさらに目指す

現在取り引きしている遊具メーカーへの納入業者は当社を入れて全国で3社ほどあるが、なかでも当社が主要な生産社となっている。これまで培ってきた技術力、そして新設備の導入でさらに整った生産体制をもって、東北でも関東レベルで仕事ができることを示していきたいと考えている。

目下の目標は、さらなる技術力の強化であり、今後行われる製品の色や仕様の変更に確実に対応していけるよう、社員の教育を進め、メーカーが安心して発注できる環境を整えていきたいと考えている。

当社はライフラインであるプロパンガスの販売や、地域の産業である漁業関連のFRP製品の製造、船舶関連の修理など地域に根ざした業務も行っており、確実



三代目として現場に立つ常務取締役の伊藤達希さん。

な利益を確保できる公園遊具の製造を柱に据えつつ、これからも地域に貢献できる会社として発展し続けていくことが使命だと感じている。